

粟小だより

2月号 令和8年2月13日



学校ホームページ



学校メール

電話 0256-93-2446


FAX 0256-93-1701

7:40~18:00

令和7年度後期学校評価についてお知らせします

粟生津小学校では、「自分の考えをもち、進んで学ぶ子」「友達を大切にし、なかよくする子」「進んで体づくりに取り組む子」の3つの子どもの姿をめざして教育活動に取り組んでいます。それぞれの成果目標と後期の評価についてお知らせします。

知育「考える」：自分の考えをもち、進んで学ぶ子

目指す姿と評価基準	後期評価
【基礎学力の定着】	
○国語・算数の単元テストで、学年の平均点が到達率以上の学年が4学年以上。 (ワークテスト)	C (国語3学年、算数5学年)
○「授業が分かる」と答える子どもが70%以上。 (児童アンケート)	A
【考察と今後の方針】 後期にC評価となってしまったことを非常に重く受け止めています。残り2ヶ月足らずですが、朝学習の時間を利用し、到達率の低かった単元の補充学習を徹底します。加えて、子どもたちの「わかった」との満足感と単元テストの到達率との乖離はなぜ起こるのか、また、活発な意見交換がなされ子どもたちが「分かった」と満足感をもつ授業がなぜ単元テストの結果につながらないのか、分析し次年度の学力向上の取組に生かしていきます。 一方で、どの学年も単元テストの平均正答率は80%前後に達しています、平均正答率85%以上をめざす今の評価基準が妥当なのかも併せて検討していきます。	
【活用力の育成】	
○「自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えを深めることができた」と回答する児童が70%以上。 (児童アンケート)	B
【考察と今後の方針】 主体的・対話的な学びをつくる授業づくりに力を入れて取り組んだ結果、子どもたちは達成感を感じています。それを「見える学力」として定着させるために何が足りないのかを分析し、次年度の学力向上の取組に生かしていきます。	
	

徳育「助け合う」：友達を大切にし、なかよくする子

目指す姿と評価基準	後期評価
【コミュニケーション能力の育成】	
○「他の学年の人達と遊んだり、活動したりするのは楽しい」と答える子どもが80%以上。 (児童アンケート)	A

○「先生や友達に進んであいさつができる」と答える子どもが90%以上。 (児童アンケート)	A
【考察と今後の方針】 他の学年の児童と遊ぶのは楽しいと感じる子どもの割合、自分は進んであいさつができると感じる子どもの割合はともに多いです。引き続きスマイル班活動やあいさつ運動を充実させていきます。	
【思いやりの心の育成】	
○相手の立場を尊重するために、「相手の立場や気持ちを考えて接している」児童が70%以上。(児童アンケート)	A
【考察と今後の方針】 6月・11月の「いじめ見逃しゼロスクール集会」などの取組、日頃の生活指導を通して、相手の気持ちを考えようとする全校の意識は高まっています。それでも小さなトラブルはいつでも起こり得ると考えています。今後も、一つ一つの事案に丁寧に対応していきます。	

体育「やりぬく」:進んで体づくりに取り組む子

目指す姿と評価基準	前期評価
【体力の向上】	
○体力テストで男女共に総合評価B以上の学年が3割を超える。 (体力テスト)	A
○「運動や身体を動かすことが好き」と答える子どもが80%以上。 (児童アンケート)	A
<p>【考察と今後の取組】 体力テストの数値は満足できる結果となりました。ただし、柔軟性をはじめ、各学年で伸び悩んでいる種目があります。体育授業で苦手な種目を準備運動に取り入れるなどさらなる体力向上をめざしていきます。</p> <p>「運動や身体を動かすことが好き」と答えた子が、前期に引き続き90%を超えました。体育授業等で取り組むそれぞれの競技・種目の特性を理解させた上で、運動の楽しさを見出せるように指導を工夫していきます。</p>	
【好ましい健康習慣の向上】	
○元気アップ週間で目標就寝時間を3日間以上達成できた子どもが65%以上。 (元気アップ週間)	A
<p>【考察と今後の取組】 前期に引き続きA評価となりました。達成できない子どもに目を向け、目標や生活サイクルの見直し等の個別指導を行いました。今後も、個々の児童に焦点を当て、生活習慣の改善を促していきます。</p>	



○保護者アンケートの結果

	評価項目	肯定的評価	前期評価
1	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	94.5	93.6
2	お子様は、家庭学習(学年×10分)の習慣が身に付いている。	62.5	62.4

3	お子様は、学校での授業が「わかる」と感じている。	87.5	85.7
4	お子様には、思いやりの気持ちが育っている。	94.4	90.9
5	お子様は、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。	87.5	88.4
6	お子様は、運動したり体を使って遊んだりすることが好きである。	81.9	84.4
7	教育活動や学習の取組など、学校の様子が各種たよりやHP、マチコミメールなどを通して伝わっている。	98.7	98.7
8	家庭からの連絡、相談等に対して、職員は丁寧に対応している。	100	100
9	粟生津小学校の教育に満足している。	98.7	100
10	お子様は、自分から進んであいさつをしている。	82.0	80.6
11	お子様は、お年寄りや目上の人に対して、正しい言葉遣いで礼儀正しく接している。	70.8	68.8
12	家庭で、交通事故や水の事故、不審者等から身を守ることについて話している。	97.2	96.1
13	お子様とインターネットや携帯電話の使い方について、話し合っている。	90.3	89.6

前期で数値が低かった「2 家庭学習の習慣化」に関しては、多くの学年で自主学習の充実を図りました。家庭学習に取り組む時間帯や環境は各家庭によって異なります。一律で課す課題と各自で内容や時間を決める自主学習を組み合わせ、学年×10分の家庭学習時間を確保していきたいと思えます。

「11 目上の人への礼儀」では、学校外の方々とふれあう機会を通して感謝の気持ちをもったり表したりすることを指導してきました。大切なことですので、今後も繰り返し指導して時間をかけて身につけさせていきたいと思えます。

○保護者の声（一部要約）

<p>マラソン大会は男女一緒に走ってもいいが、順位は男女それぞれで付けてほしい。</p>
<p>各学年の人数が少ない当校では男女別に順位をつけることが難しいです。性別による体力差が大きい高学年では5・6年合同の男女別で競技していますが、低・中学年では男女混合で競技をしています。子どもたちが意欲をもって取り組める運営を考えていきます。</p>
<p>今年度は行事や参観などで来校しても職員から元気の良い挨拶があまり聞こえてこない。子どもたち、職員、保護者がいつでも誰にでも元気な挨拶を交わし合い、活気あふれる粟生津小であってほしい。</p>
<p>いただいたご指摘は全職員で共有いたしました。ありがとうございました。職員のあいさつへの意識を高めます。</p>
<p>メディアとの付き合い方が永遠のテーマです。</p>
<p>保護者の方々からも課題意識を持っていただいていることをありがたく思えます。今の時代、子どもをメディアと完全に切り離すことは難しいですが、それゆえに正しく使うためのルール作りも含めた指導を続けていく必要があります。「元気アップ週間」を核として、学校と家庭で一緒に取り組んでいきましょう。</p>
<p>勉強でわからないところがあるが答えが合っているためにそのままいいと思っている部分があるので、家でどこが分からなかったのかを親が先生に簡単に伝えられるものがあつたらありがたいです。</p>

